



2024年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
 コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
 代表者（役職名） 代表執行役社長CEO（氏名） 松山 達
 問合せ先責任者（役職名） 執行役副社長CFO（氏名） 上田 洋一（TEL）06-6224-0193
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	58,323	3.1	2,573	△7.4	1,583	△41.0	737	△38.1	738	△38.1	2,614	△72.3
2023年12月期第3四半期	56,552	—	2,778	—	2,682	—	1,192	—	1,192	—	9,424	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2024年12月期第3四半期	18.54		16.43									
2023年12月期第3四半期	30.01		29.93									

（注）第1四半期連結会計期間より、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類しております。これにより、売上収益、営業利益、税引前利益は非継続事業を除いた継続事業の金額を表示し、四半期利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は、継続事業及び非継続事業の合算を表示しております。なお、前年同四半期連結累計期間についても同様に組み替えて表示しているため、これらの対前期増減率は記載していません。

（参考）EBITDA 2024年12月期第3四半期 5,062百万円(2.0%増) 2023年12月第3四半期 4,963百万円
 EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	165,771	56,180	56,147	33.9
2023年12月期	166,078	54,142	54,107	32.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	13.00	—	0.00	13.00
2024年12月期	—	15.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△2.7	500	△90.0	△900	—	△1,700	—	△42.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、売上収益、営業利益、税引前利益の予想値及び対前年増減率を、非継続事業を除いた継続事業の予想へ修正しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 一 、 除外 1 社 (社名) 椿鋼球株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年12月期3Q	41,599,600株	2023年12月期	41,599,600株
2024年12月期3Q	1,760,958株	2023年12月期	1,871,615株
2024年12月期3Q	39,801,021株	2023年12月期3Q	39,727,985株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	3
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、台風や地震等の自然災害による工場停止や深刻な人手不足、金利の上昇等のマイナス要因がみられたものの、半導体等の部品不足の緩和、設備投資需要の持ち直しを受け、緩やかな回復が見られました。一方で、中国経済は力強さを欠く状況が続いており、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高止まりや中東情勢の緊迫化、米国経済の減速リスクに伴う金融市場の不安定化を懸念する声がささやかれる等、先行き不透明感な状況が継続しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い、非継続事業を除いた継続事業の数値を中心に報告いたします。

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、プレジジョン・コンポーネントビジネスにおいて、国内における一部自動車メーカーの減産や、一般産業機器、工作機械の需要回復の遅れ、米国テネシー州で発生したハリケーンの影響による一時的な生産停止等により数量ベースでは売上が減少したものの、円安の影響もあり、前年同四半期比3.1%増の58,323百万円となりました。

利益面につきましては、売上数量の減少や、在庫管理見直しに伴う棚卸評価損の計上、原材料価格転嫁のタイムラグ、輸送費用・人件費の上昇等により、コスト改善活動を継続し効果はみられるものの、営業利益は前年同四半期比7.4%減の2,573百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比38.1%減の738百万円となりました。

セグメント業績につきましては、従来「プレジジョン・コンポーネントビジネス」「リニアビジネス」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、リニアビジネスのボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴い第1四半期連結会計期間より「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の1区分を報告セグメントとすることに変更しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ307百万円減少し165,771百万円となりました。これは、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業の譲渡に関する株式譲渡契約が締結されたことに伴い譲渡が見込まれる資産3,360百万円を売却目的で保有する資産に計上しましたが、現金及び現金同等物が2,480百万円減少、営業債権及びその他の債権が1,831百万円減少し、流動資産が1,070百万円減少しました。また、設備投資により有形固定資産が458百万円増加、その他の非流動資産が316百万円増加し、非流動資産が763百万円増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ2,345百万円減少し109,591百万円となりました。これは、営業債務及びその他の債務が1,620百万円減少、社債及び借入金540百万円減少したことによります。

資本につきましては、前期末に比べ2,038百万円増加し56,180百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が1,683百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第3四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,999百万円の増加となりました。主な要因としては、税引前四半期利益1,583百万円、減価償却費及び償却費2,498百万円、営業債権及びその他の債権の減少2,211百万円などの資金の増加要因があった一方で、営業債務及びその他の債務の減少1,761百万円、法人所得税等の支払額1,913百万円などの資金減少要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出を主な要因とし、2,606百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出5,000百万円がありましたが、長期借入れによる収入3,960百万円により、1,817百万円の減少となりました。

これらに当第3四半期連結累計期間中のUSドル高及びユーロ高を主な要因とする、279百万円の換算差額等を加算した結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は20,858百万円と前連結会計年度末と比べ2,145百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月13日に公表いたしました業績予想及び2024年8月9日に公表いたしました期末配当予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社である椿鋼球株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要性のある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	23,003	20,523
営業債権及びその他の債権	22,589	20,758
棚卸資産	36,936	36,621
その他の流動資産	1,697	1,893
小計	84,225	79,795
売却目的で保有する資産	—	3,360
流動資産合計	84,225	83,155
非流動資産		
有形固定資産	34,226	34,684
無形資産及びのれん	39,631	39,554
その他の投資	259	263
繰延税金資産	2,690	2,752
その他の非流動資産	5,047	5,363
非流動資産合計	81,853	82,616
資産合計	166,078	165,771
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,949	5,329
社債及び借入金	15,974	11,259
未払法人所得税等	1,685	1,590
その他の流動負債	7,428	7,195
小計	32,036	25,373
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	751
流動負債合計	32,036	26,124
非流動負債		
社債及び借入金	74,383	78,558
退職給付に係る負債	2,256	1,941
繰延税金負債	1,403	1,382
その他の非流動負債	1,858	1,586
非流動負債合計	79,900	83,467
負債合計	111,936	109,591
資本		
資本金	17,117	17,117
資本剰余金	11,617	11,321
自己株式	△2,616	△2,298
その他の資本の構成要素	12,780	14,463
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	195
利益剰余金	15,209	15,349
親会社の所有者に帰属する持分	54,107	56,147
非支配持分	35	33
資本合計	54,142	56,180
負債及び資本合計	166,078	165,771

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
継続事業		
売上収益	56,552	58,323
売上原価	46,202	49,447
売上総利益	10,350	8,876
販売費及び一般管理費	5,779	6,227
その他の収益	73	178
その他の費用	1,866	254
営業利益	2,778	2,573
金融収益	807	309
金融費用	903	1,299
税引前四半期利益	2,682	1,583
法人所得税費用	1,510	809
継続事業からの四半期利益	1,172	774
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△損失)	20	△37
四半期利益	1,192	737
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,192	738
非支配持分	0	△1
四半期利益	1,192	737
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	26	7
純損益に振り替えられない項目の合計	26	7
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	8,268	1,732
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△16	143
ヘッジコスト	△46	△5
純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	8,206	1,870
税引後その他の包括利益	8,232	1,877
四半期包括利益	9,424	2,614

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	9,421	2,616
非支配持分	3	△2
四半期包括利益	9,424	2,614
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	29.49	19.45
非継続事業	0.52	△0.91
基本的1株当たり四半期利益	30.01	18.54
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	29.41	17.09
非継続事業	0.52	△0.66
希薄化後1株当たり四半期利益	29.93	16.43

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2023年1月1日 残高	17,117	11,519	△2,616	0	△3	6,381	△154
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	26	8,265	△16
四半期包括利益	—	—	—	—	26	8,265	△16
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	73	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	73	—	△0	—	—	—
2023年9月30日 残高	17,117	11,592	△2,616	0	23	14,646	△170

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計	利益剰余金			
2023年1月1日 残高	201	6,425	17,651	50,096	35	50,131
四半期利益	—	—	1,192	1,192	0	1,192
その他の包括利益	△46	8,229	—	8,229	3	8,232
四半期包括利益	△46	8,229	1,192	9,421	3	9,424
剰余金の配当	—	—	△1,192	△1,192	—	△1,192
株式報酬取引	—	—	—	73	—	73
新株予約権の失効	—	△0	—	△0	—	△0
所有者との取引額等合計	—	△0	△1,192	△1,119	—	△1,119
2023年9月30日 残高	155	14,654	17,651	58,398	38	58,436

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年1月1日 残高	17,117	11,617	△2,616	0	22	12,774	△191
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7	1,733	143
四半期包括利益	—	—	—	—	7	1,733	143
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	318	—	—	—	—
株式報酬取引	—	△296	—	—	—	—	—
新株予約権の失効	—	—	—	△0	—	—	—
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	—	—	—	—	△195	—
所有者との取引額等合計	—	△296	318	△0	—	△195	—
2024年9月30日 残高	17,117	11,321	△2,298	0	29	14,312	△48

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素		売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計					
2024年1月1日 残高	175	12,780	—	15,209	54,107	35	54,142
四半期利益	—	—	—	738	738	△1	737
その他の包括利益	△5	1,878	—	—	1,878	△1	1,877
四半期包括利益	△5	1,878	—	738	2,616	△2	2,614
剰余金の配当	—	—	—	△598	△598	—	△598
自己株式の処分	—	—	—	—	318	—	318
株式報酬取引	—	—	—	—	△296	—	△296
新株予約権の失効	—	△0	—	—	△0	—	△0
売却目的で保有する処分グループに関連するその他の資本の構成要素	—	△195	195	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△195	195	△598	△576	—	△576
2024年9月30日 残高	170	14,463	195	15,349	56,147	33	56,180

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,682	1,583
非継続事業からの税引前四半期利益(△損失)	24	△54
減価償却費及び償却費	2,358	2,498
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△110	109
受取利息及び受取配当金	△84	△188
支払利息	850	1,107
為替差損益(△は益)	△661	△273
固定資産売却損益(△は益)	△21	△77
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△80	2,211
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,275	△562
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,787	△1,761
その他	△646	127
小計	1,250	4,720
利息の受取額	80	188
配当金の受取額	4	—
利息の支払額	△733	△996
法人所得税等の支払額	△1,500	△1,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	△899	1,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,200	△2,628
有形固定資産の売却による収入	45	79
無形資産の取得による支出	△23	△55
子会社株式の取得による支出	△239	—
その他	0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,417	△2,606
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000	—
短期借入金の返済による支出	△3,121	△5,000
長期借入れによる収入	—	3,960
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
リース負債の返済による支出	△263	△253
配当金の支払額	△1,143	△566
自己株式の売却による収入	—	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,527	△1,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,154	279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,689	△2,145
現金及び現金同等物の期首残高	24,119	23,003
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	46	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,476	20,858

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」を報告セグメントとしております。「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントです。

当社は、2024年2月9日開催の取締役会において、ボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業（以下「対象事業」といいます。）を、会社分割（簡易新設分割）により設立するTNリニアモーション株式会社（以下「新会社」といいます。）に承継させ、また、会社分割の承継資産に当社の子会社であるTN TAIWAN CO., LTD.（以下「TJT」といいます。）の株式を含めることにより同社を新会社の子会社とした上で、新会社の株式の全てをミネベアミツミ株式会社（以下「ミネベアミツミ」といいます。）に譲渡することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結しました。

なお、当社は、2024年9月18日開催の取締役会において、新設分割を中止し、当社において分割準備会社として当社の完全子会社である新会社を設立した上で、当社の対象事業を会社分割（簡易吸収分割）により新会社に承継させ、また、会社分割の承継資産に当社の子会社であるTJTの株式を含めることによりTJTを新会社の子会社（当社の孫会社）とした上で、新会社の株式の全てをミネベアミツミに譲渡することを内容とする株式譲渡契約の変更契約を同日付で締結することを決議し、ミネベアミツミと株式譲渡契約に関する変更契約を締結しました。

これに伴い、対象事業を非継続事業に分類しています。その結果、当社グループは、従来「プレジジョン・コンポーネントビジネス」「リニアビジネス」の2区分を報告セグメントとしていましたが、第1四半期連結会計期間より「プレジジョン・コンポーネントビジネス」の1区分を報告セグメントとすることに変更しています。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しています。また、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の金額から非継続事業を控除しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス				
売上収益					
外部収益	56,069	483	56,552	—	56,552
セグメント間収益	2	22	24	△24	—
連結収益合計	56,071	505	56,576	△24	56,552
セグメント利益	2,732	48	2,780	△2	2,778
			金融収益		807
			金融費用		△903
			税引前四半期利益		2,682

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料及び送風機の製造販売が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス				
売上収益					
外部収益	57,691	632	58,323	—	58,323
セグメント間収益	27	2	29	△29	—
連結収益合計	57,718	634	58,352	△29	58,323
セグメント利益	2,404	170	2,574	△1	2,573
			金融収益		309
			金融費用		△1,299
			税引前四半期利益		1,583

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料及び送風機の製造販売が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。